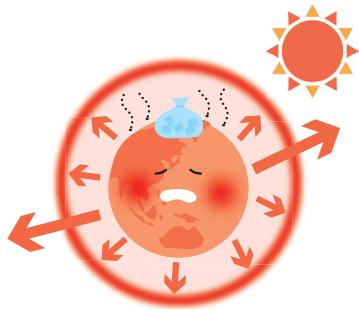


# みんなで考えよう 地球温暖化！

問合せ 生活環境課 環境保全係  
(☎) 8132-2727

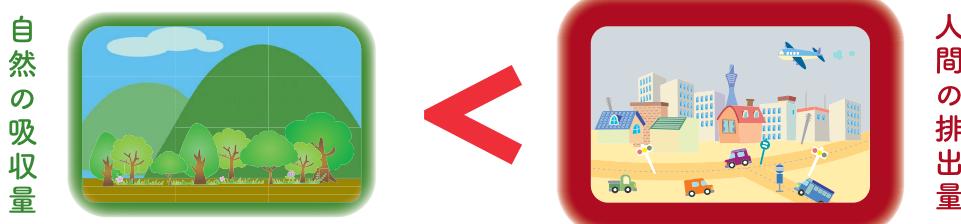
## 地球温暖化とは？

地球は太陽に温められ、その熱は地表から宇宙に放出されますが、一部は大気中の温室効果ガスが吸収することで適度な温度に保たれていました。しかし、大気中の温室効果ガスが増えることで、余分な熱が残ってしまい、平均気温が上昇しています。これを地球温暖化といいます。



## 温室効果ガスはなぜ増加するのか

人為起源の温室効果ガスには二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)やメタン、フロンなどがあり、最も多いのが二酸化炭素です。二酸化炭素は家庭で電気を使用したり、工場で燃料を燃やしたり、自動車をガソリンで走らせたりなど私たちの生活の中で排出されています。一方で、森林の樹木などが光合成により二酸化炭素を吸収していますが、私たちの二酸化炭素排出量が上回っているため、温室効果ガスが増加しています。



## 地球温暖化による深刻な影響

今、世界中で豪雨の頻発、台風の巨大化が顕著になっています。その一方で、年間降水日数の減少や渇水も発生しています。他にも以下のようない影響が出ています。

- ・熱中症による搬送者や死者の増加
- ・高温による水稻や果実など農作物の品質低下
- ・野生生物の分布変化に伴う感染症リスクの増加

市の平均気温は40年間で  
2°Cも上昇しています



## 市が掲げる削減目標

市では、2030年の温室効果ガス排出量を46%削減（平成25年比）する目標を示す「世界首長誓約」と2050年までに二酸化炭素実質排出量をゼロにするという「ゼロカーボンシティ」を表明しています。

市の温室効果ガス排出量（平成25年度）は15億2545万2000kg-CO<sub>2</sub>です。目標の46%削減には7億170万7920kg-CO<sub>2</sub>もの温室効果ガスを抑制することになります。

目標達成に向け、市民・事業者・行政がそれぞれの責任と役割のもと協働で地球温暖化対策に取り組む必要があります。

# 市民・事業者・行政の主な取り組み

## ①豊かな自然環境を育む



- ・河川や海岸の清掃活動
- ・希少動植物の保全
- ・環境保全団体の活動支援

## ②再生可能エネルギー利用



- ・公共施設へ太陽光パネル設置
- ・廃食用油を再利用した BDF（バイオディーゼル燃料）車の使用

## ③環境教育の充実



- ・環境教育の出前授業
- ・小学校と地域の連携による水質調査

## ④資源を大切に使う

- ・ごみの分別やリサイクル推進
- ・食品ロス削減の推進
- ・生ごみ処理機（コンポスト）の利用促進

## ⑤環境にやさしいまちづくり

- ・電気自動車の充電スポット拡充
- ・電気自動車の充電設備の設置費用支援
- ・苗木配布による森林資源の育成



市では環境に配慮した設備費用や環境保全活動などを支援しています。詳細は市ホームページをご覧ください。

出典：経済産業省資源エネルギー庁  
家庭の省エネ徹底ガイド春夏秋冬

## 私たちにもできること 地球にも財布にもやさしく！

### テレビをこまめに消す

見てないテレビのつけっぱなしをやめ、1日1時間使用を減らした場合

CO<sub>2</sub> 年間カット ￥ 年間カット  
約 9.9kg 約 450 円

### 電気ポットのプラグを抜く

満タンの水（2.2ℓ）を沸騰させ、1.2ℓを使用後、6時間の保温をやめた場合

CO<sub>2</sub> 年間カット ￥ 年間カット  
約 63.1kg 約 2,900 円

### シャワーは必要な分だけ

お風呂（ガス給湯器）で45℃のお湯を流す量をこまめに止めて1分間短縮した場合

CO<sub>2</sub> 年間カット ￥ 年間カット  
約 29kg 約 3,300 円

### 点灯時間を短く

白熱電球1灯の点灯時間を1日1時間短縮した場合

CO<sub>2</sub> 年間カット ￥ 年間カット  
約 11.6kg 約 530 円

### 自動車ふんわりアクセル

「eスタート」最初の5秒で時速20kmを目安に少し緩やかに発進した場合

CO<sub>2</sub> 年間カット ￥ 年間カット  
約 194kg 約 10,030 円

### 冷蔵庫に詰め込まない

冷蔵庫にものを詰め込んだ状態から半分に減らした場合

CO<sub>2</sub> 年間カット ￥ 年間カット  
約 25.7kg 約 1,180 円

他にも省エネルギー機器への買い替えを検討するなど、一つ一つの小さな取り組みの積み重ねが大きな効果を生みます。身近なエコ活動を心がけ、無理のない範囲で継続して取り組んでいくことが重要です。